

2011年11月7日
株式会社マイナビ**話題のiPhone 4Sを徹底的に使いこなしたいなら、この一冊！****『iPhone 4S Style Book iOS 5 対応版』**

マイナビより 11月9日(水)発売

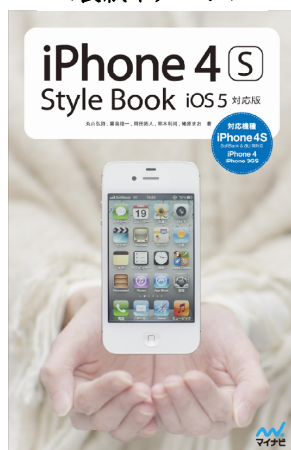
株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区）は、『iPhone 4S Style Book iOS 5 対応版』を11月9日（水）より発売します。

10月14日（金）に世界7カ国で発売された「iPhone 4S」は、発売から最初の3日間で、販売台数が“400万台”を超えたと発表されました。これは前モデル「iPhone 4」の当初3日間の実績（170万台超）と比較すると、2倍以上の数字です。日本では、今回からSoftBankに加えauからも発売されたことで話題となり、申込者が殺到して受付システムがダウンしたり、予約しながらいまだに手にできていない人がいるなど、今まで以上に注目されている機種といえます。スマートフォン市場は今、空前の盛り上がりを見せていますが、その中でもiPhoneの操作性、アプリケーションの充実度は群を抜いており、機種ごとの売上では圧倒的な首位の座を譲りません。

そんなiPhoneですが、製品パッケージには取扱説明書が入っていません。直感的な操作だけで使えることが特徴ですが、iPhoneが持っているポテンシャルを最大限に活かすには、さまざまな知識やテクニックが必要となります。

そこで本書は、発売以来iPhone 4Sをとことん使い込んだ著者陣が、各機能の設定や活用方法を深く掘り下げて解説した一冊です。初めてiPhoneを手にした人が戸惑うであろう初期設定方法や操作方法から、複数のデバイスでコンテンツを共有できるクラウドサービス「iCloud」などの注目の新機能までを、徹底解説しています。また、SoftBank、au両キャリアに対応しており、設定方法や現時点での両キャリアの違いなどを丁寧に説明しているのが特徴です。iPhone 4Sを徹底的に使いこなしたいユーザー必携の一冊です。

<表紙イメージ>



- 書名：『iPhone 4S Style Book iOS 5 対応版』
対応機種 iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS
- 著者：丸山弘詩、霧島煌一、岡田拓人、鈴木利尚、緒原まお
- 定価：1,344円（税込）
- 体裁：B6変型判 304ページ
- ISBN：978-4-8399-4098-0
- 発売日：11月9日（水）

株式会社 毎日コミュニケーションズは、2011年10月1日付で、社名を「株式会社マイナビ」に変更いたしました

※マイナビの書籍はこちら
『マイナビBOOKS』 <http://book.mynavi.jp>

本件およびご取材に関するお問い合わせ先
株式会社マイナビ 社長室 広報部 渡邊
TEL.03-6267-4155 FAX.03-6267-4050
e-mail：koho@mynavi.jp

＜本書イメージ＞

iPhoneの基本操作をマスターしよう

指先でスクリーンを直接操作!

既に国内に登場して4世代となるiPhone 4S、その最大の特徴は、指先で液晶スクリーンを直接操作すること。まずは、指先だけで多彩な操作を可能にするには、その基本をマスターしよう。

「タップ」による対象の指指定、「ドラッグ」による移動、2本の指先を広げたり狭めたりする「ピンチアウト・ピンチイン」による拡大・縮小、指先で滑らす「フリック」。この3つが基本操作だ。

なお、2本指でのタップといった特殊な操作も存在する。例えば、2本指タップは「マップ」で地図を縮小表示させる時に使う。この他にも3本指ダブルタップによる「スリープ機能」の拡大・縮小などがある。

【タップ】 ホーム画面のアイコンをタップして起動し、ホーム画面に移動する。アイコンをダブルタップすると、アイコンのサイズが1.5倍に拡大する。
【ドラッグ】 ホーム画面のアイコンをドラッグして、ホーム画面のレイアウトを変更する。
【フリック】 ホーム画面のアイコンをフリックして、ホーム画面のレイアウトを変更する。
【ピンチアウト】 2本の指先を離してスクリーンを広げると、画面が拡大される。
【ピンチイン】 2本の指先を近づけてスクリーンを狭めると、画面が縮小される。
【ダブルタップ】 ダブルタップで拡大された「Spotlight」画面。リンクが「Spotlight」で開く。元の画面に戻るには、画面の右下隅をタップする。

◆ 初めて iPhone を手にした人でもわかりやすいよう、基本操作から徹底解説

◆ iCloud や Siri (現在日本語未対応) をはじめとする注目の新機能も紹介

iCloudとiTunesをうまく使い分けよう

「iTunes」の役割は終わったのか?

パソコン上にインストールして、音楽や映画といったメディアデータを管理したり、「連絡先」に「カレンダー」といった各種情報をパソコンと同期し、iPhone上のデータのバックアップを行うパソコン版「iTunes」(以下「iTunes」)は、iPhoneを活用する上で欠かせない存在だった。しかし、同様の機能を担う新たなサービスiCloudが新たに登場したことで、「iTunes」とiCloudどちらを利用するか悩んでいる人も多いのではないだろうか?

結論から言ってしまうと、iCloudは、iPhoneユーザーなら誰でも無料でしかも簡単に利用できる、利用する機能を幅広く選択できることを考えれば、積極的にiCloudを活用すべきだ。

ただし、現状iCloudにはいくつかの弱点があり、これらに備えて、「iTunes」はまだ重要な存在といえる。また、「iTunes」とWi-Fi経由で同期する機能 (P.207参照) が搭載されたことで、使い勝手が向上した点も見逃せないポイントだ。

無料から利用できる保存機能が5GBという点も重要だ。「フォトストリーム」やアプリが保存機能を圧迫する心配はないが (P.58参照)、撮影した動画や各種アプリの書籍データがある場合は、容量が不足してしまう。こんなときは、やはり手元の「iTunes」へのバックアップが便利だ。

復元時の信頼性も重要
P.59で紹介したように、iCloudへのバックアップは簡単に実行できるが、バックアップ自体は暗号化が施されている。このため、バックアップ後にパスワードを忘れた場合、バックアップ自体は暗号化されているため、パスワードを知らなければ復元できない。また、iCloudへのバックアップは、バックアップ時にホーム画面のアイコンが変更されている場合、復元したときにホーム画面のアイコンが変更されている可能性がある。また、iCloudへのバックアップは、バックアップ時にホーム画面のアイコンが変更されている場合、復元したときにホーム画面のアイコンが変更されている可能性がある。

【注】 パソコン版「iTunes」はMac OS XとWindowsが利用できる。詳しくは <http://www.apple.com/japanese/itunes/> からダウンロードできる。また、iPhoneを手にした上で、元のiTunesからダウンロードした場合は、iTunesが自動的にインストールされる。この場合、iTunesが自動的にインストールされる。

iPhoneを声で操作! Siriを体験してみよう

日本語には2012年中对応予定!

「Siri」はiPhoneに話しかけるだけで様々な操作を行える機能だ。残念ながら現時点では、英語、フランス語、ドイツ語に対応してはいるが、日本語では使えない。Apple社によると2012年中には日本語もサポートする予定とのことなので期待しよう。

日本語での音声コントロールもできないわけではない。「設定」→「一般」→「Siri」をオフにして、「一般」→「言語環境」より「音声コントロール」を日本語にすれば、音声コントロールが利用できる。ホームボタンを長押しして、「再生」、「一時停止」などミュージックの操作や「電話をかける」、「佐藤」などで電話の発信操作ができる。

簡単な英語でSiriを体験

Siriを使い始める前に「設定」→「一般」→「Siri」から各種の設定を行う。ここでは自分の連絡先や言語を指定できる。初期設定は「英語 (アメリカ合衆国)」だが、発音によっては「英語 (イギリス)」に設定することで認識されやすくなることもあるだろう。

ホームボタンを長押しするか、ホームボタンを押したまま息を吸ってとSiriを呼び出せる。まず試してみたいのが、「Information」や「Help」だ。このコマンドでSiriで使える例文を確認できる。簡単なものとしては、今日のスケジュールを確認する「Today」や、新しいメールのプレビューができる「Check Email」、計算機代わりに使える「6801 + 139」などがある。ちなみに、大きな桁の数字は「Eight six zero one」のように数字を繋げて発音すればいい。慣れてきたらメッセージの送信にも挑戦してみよう。「Send a messages to home saying call me please」だけ覚えておけばいい。「to」の後に連絡先の名前かアドレスを、「saying」の後に送りたい内容を、その後、画面を操作するより手軽にメッセージを送れる。

【注1】 iPhone 4Sのみが使えるSiri。ホームボタンの長押し、Homeボタンを押し続けることでiPhoneも日本語で話しかけることができます。

【注2】 iPhone 4S以外でも利用できる音声コントロール。設定→一般→言語環境で「音声コントロール」を日本語にすれば、「Siri」の音声コントロールが使える。

【注3】 対応言語のホームボタンを長押しして、Siriを呼び出す。設定→一般→Siriで利用できる。設定で言語を選択する。簡単な英語で話しかける。

【注4】 「How many」で、日本語のSiriが英語で話しかける。設定→一般→Siriで利用できる。設定で言語を選択する。簡単な英語で話しかける。